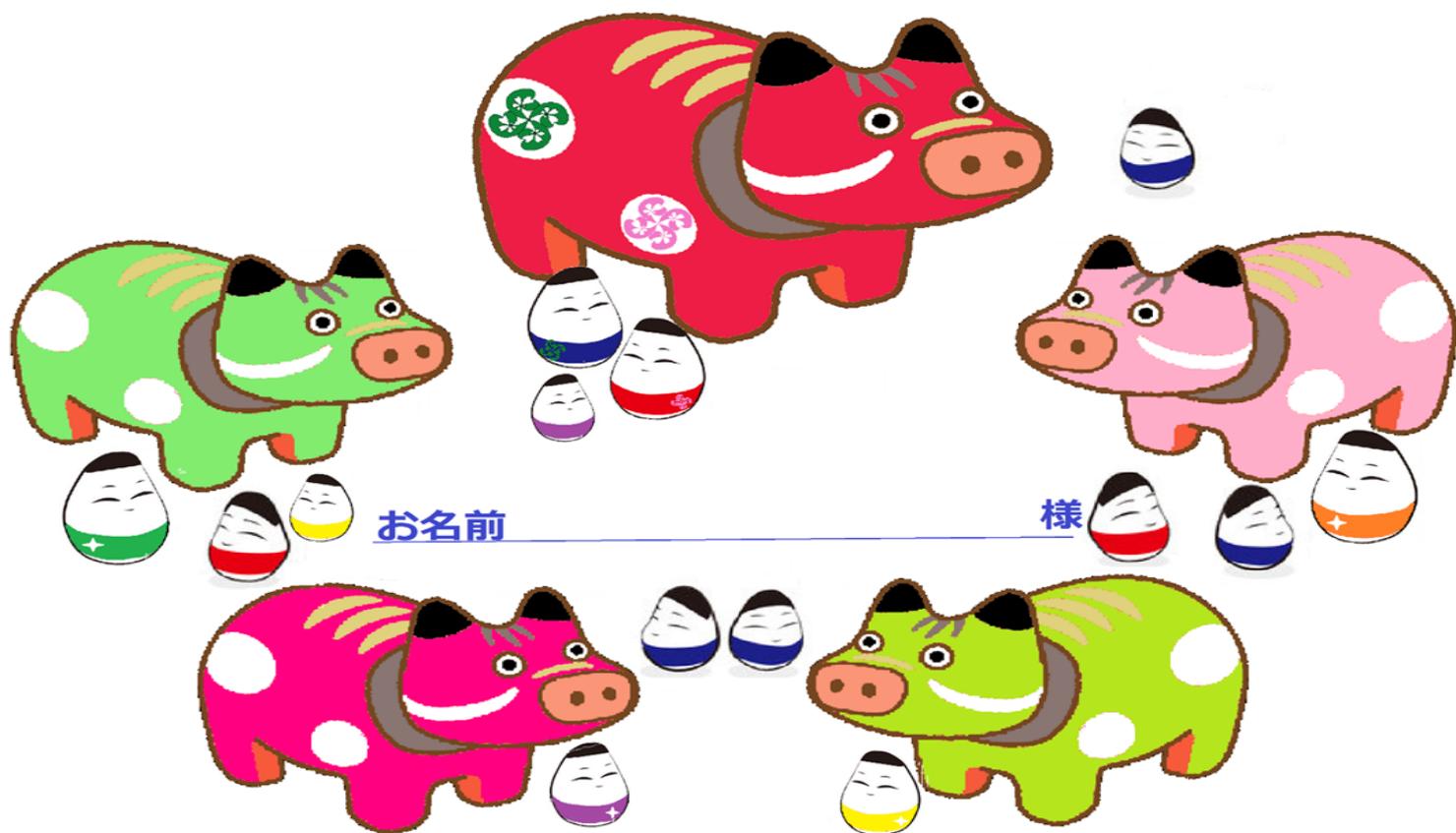


私のカルテ

～内視鏡的粘膜下層剥離術後の地域連携パス～



当院

会津医療センター

0242 - 75 - 2100

かかりつけ医

胃がんのことで当院とかかりつけ医を受診する時にはこの冊子を必ず持参し予約票と一緒に提出してください。

内視鏡的粘膜下層剝離術後地域連携パス

もくじ

- ・ 保健指導
 - ・ 粘膜下層剝離術と胃潰瘍について
 - ・ 退院後の日常生活について
 - ・ ピロリ菌について
- ・ 地域連携パスとは
- ・ 内視鏡治療の結果について
- ・ 通院スケジュール
- ・ 胃がん治療に関する連携計画書
- ・ 内視鏡検査と画像検査の結果
- ・ 検査データ貼付用

粘膜下層剝離術と胃潰瘍について

今回受けた治療内容は胃 ESD (胃内視鏡的粘膜下層剝離術) です。

詳しい治療内容は治療前に医師から受けた説明書をご覧ください。

まず、胃の働きについてですが、食べ物を一時的に留めて、分泌した胃液と混ぜて消化することです。

健康な胃であれば、消化に必要な胃酸(強い酸性)などに傷つけられないよう、胃粘液や胃血流(血のめぐり)などのバリアで粘膜表面を保護しています。しかし、攻撃因子(胃酸、ピロリ菌など)が強まりバリア(胃粘液など)が弱まると、胃粘膜は障害・損傷される恐れがあります。

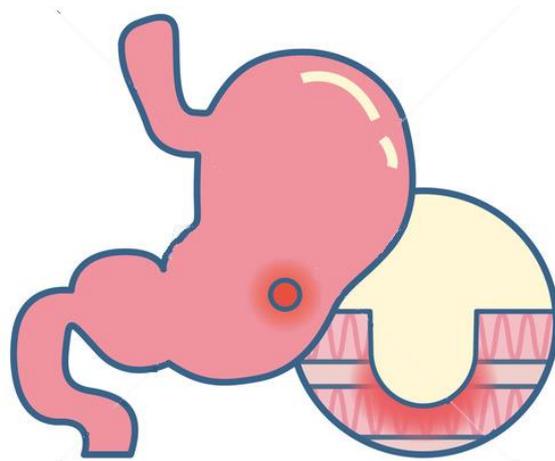
胃の壁の損傷・欠損が粘膜下層よりも深い部分まで及んでいる場合を“胃潰瘍”といいます。

今回受けた胃 ESD は特殊なメスを使って胃の粘膜下層まで切り取ってきています。

下線部をみるとどちらも粘膜下層とあります。

そうです、胃 ESD は治療のためとはいえ人工的に胃潰瘍ができてしまっている状態といえます。

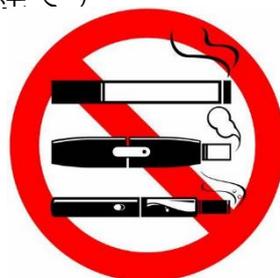
そこで退院後の生活でも気を付けていただきたいことがあります。



退院後の日常生活について

1) 飲酒・タバコはここに気をつけて

- ・傷口からの出血の原因になるので、2週間は禁酒・禁煙です
- ・ノンアルコールで我慢してください……



2) 運動・仕事・家事はここに気をつけて

- ・2週間は激しい運動はやめてください
(ジムに行くのも控えましょう)
- ・同じく、2週間は重労働は控えましょう
- ・家事は休憩を挟みながらゆっくりと行いましょう



3) 入浴はここに気をつけて

- ・出血の危険性があるので、2週間は長時間の入浴、熱めのお風呂、サウナは控えてください。シャワーは可能です



4) 便の色に気をつけて

- ・2週間は出血のリスクがあります。便の色を見て、血便や黒い便があれば受診してください。激しい腹痛にも注意です

<https://liberal-nurse.com/>



正常



上部消化管出血
鉄剤・イカ墨



下部消化管出血



脂肪便
膵炎・胆道障害



バリウム検査
胆道障害

5) 食事について

食事が再開される前に栄養士さんから栄養指導で資料をもらっていると思います。そこには食べていい食材や控えていただきたい食材などが載っています。術後2～3週間は食事内容や調理法を意識してください。

ポイントは3点です。

・よく噛んで食べること。

よく噛むことで消化しやすくなり、胃への負担が減ります。また、満腹中枢が刺激されます。



・過食しないこと。

食べすぎはよくありません。腹八分目くらいにしてください。

・刺激物(香辛料、香味野菜、カフェイン、アルコール、炭酸)、

しょっぱいもの、脂っこいものは避ける。

それぞれ胃の粘膜を刺激して弱らせてしまいます。アルコールは胃潰瘍をただれさせますので治癒するまでは禁酒です。

6) 内服薬について

胃薬とひとまとめにしてしまいがちですが、

- ・胃粘膜を守る胃粘液量を増大させ、胃粘膜を守る薬。
- ・胃の粘膜を覆って保護する薬。
- ・胃の血流を増加させ胃粘膜の形成を助けるなど胃粘膜損傷を防御する働きを高める薬。
- ・出過ぎた胃酸を中和することで、胃内のpHを調整し、胃壁への刺激を緩和する薬。



など、働き方は様々です。処方されたお薬は自己判断で中止せずきちんと内服してください。

ピロリ菌について

Helicobacter pylori (ピロリ菌)は非常に強い酸性である塩酸が含まれる胃液の中でも、アンモニアを作り出すことで塩酸を中和し胃の中でも生き続けます。感染経路ははっきりと分かりませんが、水や食べ物と一緒に口から入るとい説が考えられています。水道が未整備だったため日本でも60歳代以上の80%が感染しているとされています。若くなればなるほど感染率は下がります。

検査方法

胃カメラを行う方法では胃の粘膜を採取し(生検)、検査をします。

*** 迅速ウレアーゼ試験 * 鏡検法 * 培養法**

胃カメラをしない方法は

*** 尿素呼気試験 * 抗体測定 * 糞便抗原測定** があります。

治療

抗生剤と胃薬を1週間内服して治療します。1次除菌で70%以上の方が治癒できます。2次除菌まで行った場合は、全体の90%以上の方が治癒できます。

除菌中の副作用について、下痢・軟便(10~20%程度)、味覚がおかしくなる(味覚異常)(1~8%程度)、肝機能障害(1~5%程度)

除菌後の胃カメラ検査について

除菌後のピロリ菌再発は0.2~2%程度(文献で差があります)といわれています。除菌後に胃がんが発見される程度は1~2%あります。

除菌された時点で既にピロリ菌が「胃がんの芽」(胃カメラでは見えないほどの小さなもの)を作ってしまったら、大きくなって発見されるケース、除菌後もピロリ菌による「萎縮性胃炎」は続くため胃がん発生の母地になっているケース、そのほかピロリ菌以外のケースが考えられます。

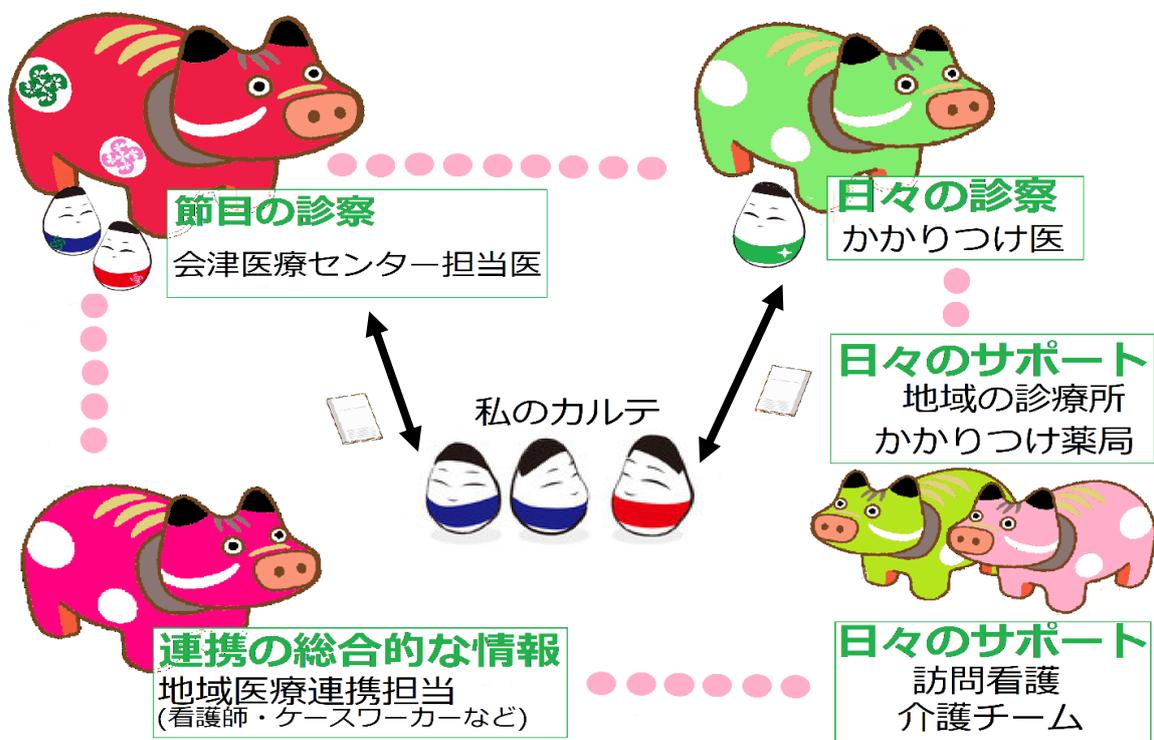
定期的に胃カメラを受けて新たな胃がんが再発していないか確認していくことが大切になります。

地域連携計画書(地域連携パス)とは

地域連携パスでは、かかりつけ医と会津医療センターとが連携し、役割を分担して患者さんの治療にあたります。

日々の診察と薬の処方をおかかりつけ医、節目の診察を会津医療センターが担当しますが、治療は共通の連携計画書にそって行われるので、同じ診療方針で治療を受けられます。

また、患者さんの診療情報は、かかりつけ医やセンターなどの関係する医療機関で共有しますので、患者さんは必要な治療をスムーズに受けることができます。



患者さんのメリット

かかりつけ医と会津医療センターとを定期的に受診することで、患者さんの主治医が複数になる(味方が増える)と考えることができます。

異常の早期発見やきめ細かな対応が、複数の担当医、看護師、薬剤師等のチームから受けられます。

通院時間や交通費など、患者さんの負担軽減も望めます重複した検査・投薬が避けられます



地域連携パスの活用

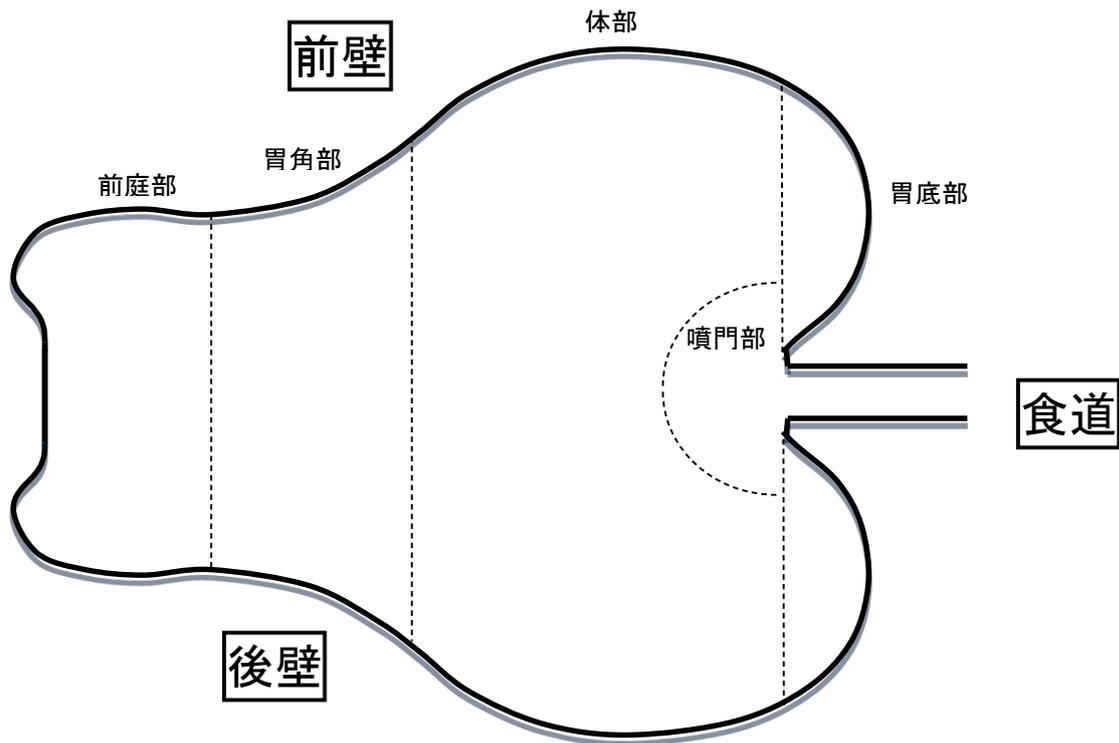
私たちは、地域連携パスが患者さんの療養生活や診療の方針に合っているかを検討し、利用した方が良いと考えた場合におすすめしています。

関係する医療機関、患者さん・ご家族と相談しながら運用し、変更・中止の申し出にも応じます。

胃がんの内視鏡治療の結果について

1) 内視鏡治療部位

内視鏡治療施行日： 年 月 日



2) 病理結果

肉眼型は Type 癌の大きさ X mm

深達度 【 T1a(M)・T1b(SM)】

組織型 【 pap, tub1, tub2, por1, por2, sig, muc, その他()】

脈管侵襲 【 l y (0, 1, 2, 3)】、 【 v (0, 1, 2, 3)】

がんの間質量 (med, int, sci) 浸潤増殖様式 INF (a, b, c)

内視鏡的切除断端 HM (0, 1) VM (0, 1)

通院スケジュール

術後	1～2か月	半年	1年	1年半	2年	2年半
受診先	当院	当院	かかりつけ医	当院	かかりつけ医	当院
受診日	. /	. /	. /	. /	. /	. /
診察	○	○	○	○	○	○
生活指導	○	○	○	○	○	○
採血	△	△		△		△
内視鏡検査	○		○		○	
画像検査		○		○		○

術後	3年	3年半	4年	4年半	5年	5年半
受診先	かかりつけ医	当院	かかりつけ医	当院	かかりつけ医	当院
受診日	. /	. /	. /	. /	. /	. /
診察	○	○	○	○	○	○
生活指導	○	○	○	○	○	○
採血		△		△		△
内視鏡検査	○		○		○	
画像検査		○		○		○

○は必須科目、△は必要時実施項目になります

受診日は大まかな目安ですので、必要があれば定期受診日以外でもかかりつけ医に受診してください

退院後初回受診は病理検査報告です。連携開始日は1～2か月の内視鏡検査後になります。

ESD後連携パス（術後～1年半）

術後	1～2か月	半年	1年	1年半	
受診先	当院か	当院	かかりつけ医	当院	
受診日	. /	. /	. /	. /	
診察	○	○	○	○	
生活指導	○	○	○	○	
採血		△	△		
内視鏡検査	○		○		
画像検査		○		○	
採血検査の異常					
・貧血 (RBC・Hb)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・炎症所見 (WBC・CRP)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・その他 (肝機能・腎機能等)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
体重	kg	kg	kg	kg	
食事量(1)	A: B : C :D	A: B :C: D	A :B :C :D	A :B :C :D	
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
便通(2)	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
(3) 症状など	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	その他				

(1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下

(2)便通 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す

(3)症状など 0 症状ない 1 現在の方法で満足 2 ひどくないが、方法があるなら教えてほしい

3 我慢できないことがあり、対応してほしい 4 ずっと我慢できない状態が続いている

ESD後連携パス（2年～3年半）

術後	2年	2年半	3年	3年半
受診先	かかりつけ医	当院	かかりつけ医	当院
受診日	. /	. /	. /	. /
診察	○	○	○	○
生活指導	○	○	△	△
採血	△		○	
内視鏡検査	○		○	
画像検査		○		○
採血検査の異常				
・貧血 (RBC・Hb)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
・炎症所見 (WBC・CRP)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
・腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)				
・その他 (肝機能・腎機能等)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり

体重	kg	kg	kg	kg	
食事量(1)	A: B : C :D	A: B :C: D	A :B :C :D	A :B :C :D	
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
便通(2)	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
(3) 症状など	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	その他				

(1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下

(2)便通 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す

(3)症状など 0 症状ない 1 現在の方法で満足 2 ひどくないが、方法があるなら教えてほしい
3 我慢できないことがあり、対応してほしい 4 ずっと我慢できない状態が続いている

ESD後連携パス（4年～5年半）

術後	4年	4年半	5年	5年半	
受診先	かかりつけ医	当院	かかりつけ医	当院	
受診日	. /	. /	. /	. /	
診察	○	○	○	○	
生活指導	○	○	○	○	
採血	△	△	△	△	
内視鏡検査	○		○		
画像検査		○		○	
採血検査の異常					
・貧血 (RBC・Hb)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・炎症所見 (WBC・CRP)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
・その他 (肝機能・腎機能等)	なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり	
体重	kg	kg	kg	kg	
食事量(1)	A: B : C :D	A: B :C: D	A :B :C :D	A :B :C :D	
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
便通(2)	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	a :b :c :d	
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	
(3) 症状など	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	その他				

(1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下

(2)便通 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す

(3)症状など 0 症状ない 1 現在の方法で満足 2 ひどくないが、方法があるなら教えてほしい

3 我慢できないことがあり、対応してほしい 4 ずっと我慢できない状態が続いている

内視鏡検査

検査時期	所見
1～2か月後	
術後1年	
術後2年	
術後3年	
術後4年	
術後5年	

画像検査

検査時期	所見
術後半年	
術後1年半	
術後2年半	
術後3年半	
術後4年半	
術後5年半	



検査データ貼付用





検査データ貼付用



